



「聖家族」Joseph Paelinck(ベルギー、1820年、Public Domain)

通常の条件(ゆるしの秘跡、聖体拝領、教皇の意向のための祈り)を果たし、真の悔悛と慈善の精神に動かされて、2022年7月24日の「第2回祖父母と高齢者のための世界祈願日」に教皇フランシス

「全免償」とは、ある特定の行いを通して、罪に伴って残っている償いを、

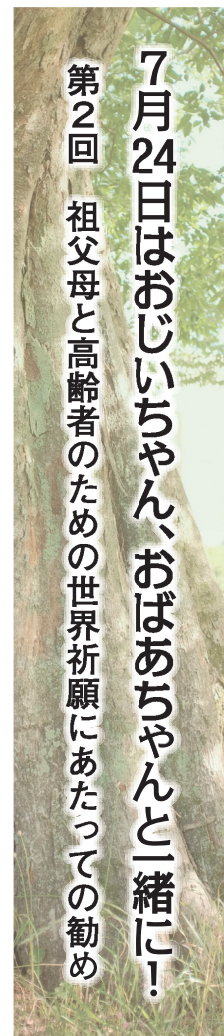
困難な状況にある高齢の兄弟姉妹(病人や孤独な人、障がい者など)を直接またはメディアを通じて訪問する信徒に、全免償を与えます。

天国の聖人たちの功徳によつてすべて免除するものです。よく誤解されますが、罪のゆるし(免罪)ではありません。だからこそ、条件としてゆるしの秘跡にあ

ずかることがあります。ゆるしの秘跡は司祭から受ける必要がありますので、この教令の最後には次のような依頼が記載されています。

教会の鍵の力によつて神の恵みを得るこの機会が、司教的慈善によってより容易に実現されるように、内赦院は、ゆるしの秘跡を聞く権能を備えた司祭たちが、進んで寛大な精神でゆるしの秘跡を聞くよう、強く要請します。

コガバチカンで主宰する荘厳な式典、あるいは世界中で行われるさまざまな行事に参加する祖父母と高齢者としてすべての信者に全免償を与えます。この全免償は、煉獄の靈魂のためにゆるすることもできます。……また、この日に適切な時間を割いて、困っている、あるいは困難な状況にある高齢の兄弟姉妹(病人や孤独な人、障がい者など)を直接またはメディアを通じて訪問する信徒に、全免償を与えます。



全免償のチャンス

7月24日はおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に！
第2回 祖父母と高齢者のための世界祈願にあたっての勧め

高齢者は木の根

教皇フランシスコは、今年の2月から毎週水曜日の一般謁見の際に「老齢期についての連続講話」を始められました。その第1回でこう述べられました。

若者は高齢者と話すべきです。高齢者も若者と話す必要があります。その対話の橋を通

具体的な行動を

教皇様がされるバチカンでの行事に参加することはむずかしいですから、教区として次のような企画を計画しています。

7月24日(日)午後2時より、ドムスガラシア(園田教会横のサービスピキ高年齢者向け住宅)のチャペルにて、酒井司教と入居者によるロザリオの祈りの集いを行います。それをライブ配信

甲山墓参 聖母月の司祭納骨式



5月25日10時半より甲山墓園で、帰天された教区司教・司祭および納骨者のために追悼ミサがささげられた。今年は神林宏和神父、後藤進神父、西山俊彦神父、三竹洋一神父の4人の司祭の納骨式も行われた。コロナ禍で3年ぶりとなった墓参の野外ミサは晴天に恵まれ、司祭20人と約100人の参列者が帰天司祭の安息を祈った。

墓参——生きている人間が、先に逝った方々に対して行うごく当たり前の礼儀だが、今回3年半ばを経て、4人の司祭たちを甲山に葬ることができた。2019年の終わり頃から激しい勢いで地上を占領していったあのウイルスに我々はただ驚くばかりだったが、こうしてこの日を迎えたことで、日常を取り戻しつつあることを感じた。故人司祭それぞれとの思い出をもつ司祭たちと、感謝の念を込めて朝から集まった人びとと共に祈ることができた。

主司式の前田万葉大司教が詠まれた句の一つは「聖五月生きるも死ぬも神のもの」。すべてを神にささげる司祭職という厳かな神秘に対して、神への感謝と、司祭たちへの自戒をうながした。帰天司祭のご遺骨が入った白布袋は大司教の手から墓園の職員に渡され、地下へと運ばれた。地上での長旅を終え(大阪カテドラルの納骨堂でのしばしの休憩も含め)、我々の傍にいた4人の司祭たちはこれで本格的な安息に入られたであろう。派手で目立つものを人びとが欲しがるときの時世、土に埋まっている宝のような「司祭職」の値打ちに、見る目のある人は気付くはずだ。

聖母月も終わり間近、心の中でロザリオの祈りをささげながら帰ってきた。お休みなさいませ、先輩方！

(事務局長 崔永水神父)



祭壇前に置かれた4人の帰天司祭の遺影

して、人類の知恵が伝わっていきます。……家庭、社会文化、両方において、高齢者は木の根のようなものだということをお忘れないうちにしよう。高齢者には今までの歴史があるのです。そして、若者はその花であり実のようなものです。樹液の一滴一滴が、根から上がってこなければ、花や実が豊かに実ることはないでしょう。わたしが何度も繰り返し読んでいる次の詩を忘れないでください。「木が花をつけるのは、地中の部分があるからです」(フランシスコ・ルイス・ベルナルデス)。社会が持つあらゆる美しいものは、高齢者の根に関連があるので。

- 2時からライブ配信で一緒にロザリオを祈る。
- お昼ご飯をいっしょに食べる。
- おじいちゃん、おばあちゃんの教会に行つて一緒にミサに出る。
- 文 酒井俊弘補佐司教

他の条件を満たせば全免償を得ることができ、そのためにするのはなく、今回をスタートとしてこれからも高齢者との関わりを続けましょう。そうして教会という木が大きく成長していくことができるのです。

ライブ配信視聴



信仰の時間 ABCラジオ (朝日放送) AM1008/FM93.3 毎週日曜日 5:50~6:00AM 朝一番、祈りのひとときをもちませんか 7月担当: ヌノ・デ・リマ 神父 スマホアプリのradiko(ラジオ)でも聴くことができます。

有償ボランティア 事務局員募集 求 詳しくは ホームページ をご覧ください。 https://yurikago.site 理事長 人見 滋樹 (元カトリック医師会会長) 認定NPO法人 こうのりのゆりかご in 関西



7 2022

発行所 大阪府中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙 「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジタル)」 山口さん ☎0798-34-4228

- ☆ 2022年春 小教区・プロック司牧担当者など一覧
- ☆ 司牧者から若者たちにこの一冊 ラジオ「信仰の時間」山口武史神父
- ☆ イエスにならう生き方を求めて(4画)
- ☆ 新しくなる典礼 ☆ カテキズムの学び ☆ 生きる一難民移住者(5画)
- ☆ 2021年度教区会計報告(67画)

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。